



**TOKYO
INTERNATIONAL
CONDUCTING
COMPETITION
2024
REGULATIONS**

国際音楽コンクール世界連盟会員



東京国際指揮者コンクール 2024

東京国際音楽コンクール〈指揮〉改め



主 旨

東京国際指揮者コンクールは、広く有能な音楽家の参加を求め、優れた人材の発掘、育成に努め、世界の楽壇への活躍を力強く支援すると共に、国際間の文化交流を推進し、音楽文化の発展に貢献するものである。

主催 一般財団法人民主音楽協会

後援 外務省、文化庁、東京都、**NHK**

協力 公益社団法人 日本オーケストラ連盟、
東京オペラシティコンサートホール

【オフィシャルスポンサー】



Member of the World Federation of International Music Competitions

TOKYO INTERNATIONAL CONDUCTING COMPETITION 2024

Formerly the
Tokyo International Music Competition
for Conducting



OBJECTIVES

The Tokyo International Conducting Competition invites the wide participation of capable musicians with the aim of unearthing and nurturing outstanding talent. In addition to providing strong support to such musicians and their musical activities around the world, the Competition also endeavors to promote international cultural exchange and contribute to the further development of musical culture.

Organized by Min-On Concert Association

Supported by The Ministry of Foreign Affairs of Japan
The Agency for Cultural Affairs of Japan
The Tokyo Metropolitan Government
The Japan Broadcasting Corporation (**NHK**)

Cooperation from The Association of Japanese Symphony Orchestras
The Tokyo Opera City Concert Hall

[Official Sponsor] Alp, Inc. SECOM CO., LTD. Daiwa Securities Co. Ltd.

参加規程：目次

主催・沿革	2
組織	2
応募資格	3
書類・映像による選考 申し込み方法	3
書類・映像による選考 申し込み上の注意事項	3
書類・映像による選考 申し込み受付期間	4
申し込み・問い合わせ先	4
書類・映像選考委員会	5
審査について	5
参加料	5
開催日程	5
演奏曲目	5
参加者受付	6
審査結果の発表	6
表彰式	6
表彰	7
記者会見	7
入賞デビューコンサート・副賞	7
旅費・滞在費	8
ビザの取得	8
実施に伴う諸権利	8
保険・損害補償	8
運営・選考・審査に対する疑義	8
条項の追加・削除・変更	8
訴訟の判決権	9
参加規程の正文	9

✦ 主催・沿革 ✦

当コンクールは、一般財団法人民主音楽協会によって主催され、1967年より「民音コンクール」として開始。
1988年の「東京国際音楽コンクール」改名を経て、今回、20回の節目を機に「東京国際指揮者コンクール」に改名する。

✦ 組織 ✦

当コンクールは、組織委員会、実行委員会、審査委員会、コンクール事務局で構成される。
審査委員会は、実行委員会によって起案され、一般財団法人民主音楽協会の了解のもと組織される。
コンクール事務局は、民音文化センター内に設置する。

■ 組織委員会 ■

委員長：伊藤 一人（一般財団法人民主音楽協会代表理事）
委 員：小澤 征爾（セイジ・オザワ松本フェスティバル総監督、水戸室内管弦楽団総監督、新日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉指揮者）

2023年7月11日、指揮者・作曲家の外山雄三先生がご逝去されました。
外山先生は、1967年第1回より審査委員、1997年第11回から2018年第18回まで審査委員長を務められ、当コンクールの発展に多大なるご尽力を賜りました。
ここに、生前のご貢献に深謝するとともに、謹んで哀悼の意を表します。

■ 実行委員会 ■

委員長：小松 清史（一般財団法人民主音楽協会理事）
委 員：広上 淳一（オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストリック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一、東京音楽大学指揮科教授、京都コンサートホール館長）
桑原 浩（公益社団法人日本オーケストラ連盟専務理事）
宮澤 敏夫（公益財団法人富士山静岡交響楽団専務理事）
尾高 忠明（NHK交響楽団正指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督、BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団桂冠指揮者、東京藝術大学名誉教授）
下野 竜也（広島交響楽団音楽総監督・2024年4月より同団桂冠指揮者、広島ウインドオーケストラ音楽監督、東京藝術大学音楽学部指揮科客員教授）
多田 健志（一般財団法人民主音楽協会公益本部本部長）
高関 健（東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者、仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、富士山静岡交響楽団首席指揮者）

（アルファベット順・敬称略）

■ 審査委員会 ■

委員長：尾高 忠明（NHK交響楽団正指揮者、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督、BBCウェールズ・ナショナル管弦楽団桂冠指揮者、東京藝術大学名誉教授）
委 員：ジェフ・アレクサンダー（アメリカ／シカゴ交響楽団総裁）
マイク・ジョージ（イギリス／BBC交響楽団シニアプロデューサー）
広上 淳一（オーケストラ・アンサンブル金沢アーティストリック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団広上淳一、東京音楽大学指揮科教授、京都コンサートホール館長）
ライナー・ホーネック（オーストリア／ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター、紀尾井ホール室内管弦楽団名誉指揮者）
オッコ・カム（フィンランド／元ラハティ交響楽団首席指揮者）

下野 竜也（広島交響楽団音楽総監督・2024年4月より同団桂冠指揮者、広島ウインドオーケストラ音楽監督、東京藝術大学音楽学部指揮科客員教授）
ユベール・スダーン（オランダ／東京交響楽団桂冠指揮者）
高関 健（東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者、仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、富士山静岡交響楽団首席指揮者）

（アルファベット順・敬称略）

■ コンクール事務局 ■

事務局長：多田 健志（一般財団法人民主音楽協会公益本部本部長）

✦ 応募資格 ✦

- ・国籍は問わない。
- ・本コンクール本選時に、満38歳以下であること。
- ・すでに、本コンクールの第1位に入賞した者は、再参加の資格はないものとする。

✦ 書類・映像による選考 申し込み方法 ✦

■ インターネットでの申し込み（推奨）■

・本コンクールのホームページ(<https://www.conductingtokyo.org/>)内にある「参加申込フォーム」に必要事項を入力し、次の3点をアップロードする。

① 映像資料

収録した映像をインターネット上にアップロードし、そのURLを申し込みフォームに入力する。

② 半年以内に撮影した本人写真

③ 応募者の生年月日を証明する書類

・虚偽の記入、提出物があった場合は失格とする。

・詳しくは、3～4ページの「書類・映像による選考 申し込み上の注意事項」を参照のこと。

・入力された内容はSSL(Secure Sockets Layer)とTLS(Transport Layer Security)にて暗号化され送信される。

■ 郵送での申し込み ■

・所定の応募書類(参加申込書、経歴書、自由曲(3曲))の書式に従って必要事項を記入し、以下の3点を添えて郵送する。

① 映像資料

収録した映像をmini-DV、DVCAM、DVD、USBメモリー、SDメモリーカードの記録媒体(VCDは不可)で送ること。

詳しくは、4ページの「映像資料」を参照のこと。

② 半年以内に撮影した本人の白黒、またはカラー写真(5cm×5cm)3枚。そのうち1枚は、参加申込書に貼付すること。

③ 応募者の生年月日を証明する書類(コピー可)。

・虚偽の記入、提出物があった場合は失格とする。

・提出された書類、映像資料などは返却しない。

・詳しくは、3～4ページの「書類・映像による選考 申し込み上の注意事項」を参照のこと。

✦ 書類・映像による選考 申し込み上の注意事項 ✦

〈経歴書〉

主要な履歴、音楽歴(学歴、師事した先生、音楽活動歴、コンクール歴等)を入力フォーム、もしくは指定用紙の範囲内にまとめて提出すること。

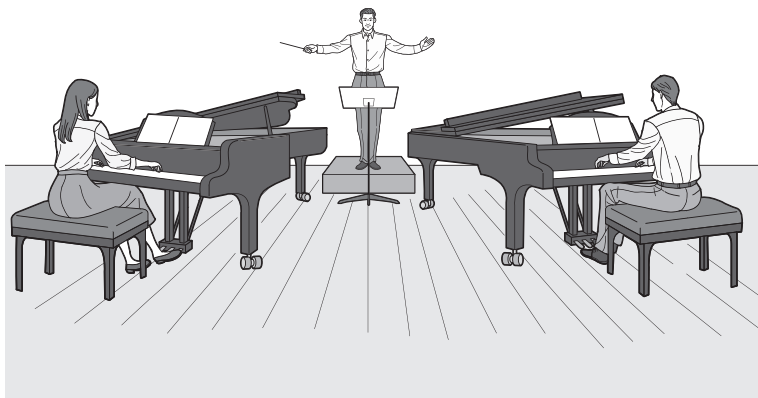
〈本選で演奏する自由曲(3曲)〉

・6ページ「演奏曲目〈本選〉自由曲」の項を参照。

- ・“独奏・独唱・合唱を含まない標準的な3管編成、打楽器6人以内の交響曲、管弦楽曲”の条件に従い、本選で演奏を希望する曲目を3曲提出する。なお、第1候補から第3候補まで希望順に記載すること。
- ・自由曲は、第1次予選、第2次予選、本選の課題曲と重複しないこと。
- ・曲目は原語と英語(日本人の応募者は訳語)で記入し、作曲者名、作品番号、および版名を明記すること。

〈映像資料〉

- ・収録する曲目は以下の通り。
J. ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲 作品56a/b 第7変奏～終曲
- ・応募者本人の演奏(指揮)を撮影したものであること。指揮者と演奏者が必ず一緒に写っているものであること(演奏者側から指揮者を撮影したものが望ましい。下記のイラストを参照のこと)。
- ・音声を正しく収録するため、マイクロフォンの位置には十分注意すること。
- ・インターネットを使用した申し込みの場合、収録した映像をインターネット上にアップロードし、そのURLを申し込みフォームに入力する。動画投稿サイトを使用する場合「限定公開」、もしくは同様の設定とし、一般公開しない。アップロードできるファイル形式はMPEG-2、MOV、AVI、MP4、AVCHDとする。メディアやメールでの送付は受け付けない。
- ・郵送での申し込みの場合、mini-DV、DVCAM、DVD、USBメモリー、SDメモリーカードの記録媒体(VCDは不可)で送ること。
- ・申し込みフォーム、もしくは指定用紙の所定の項目に撮影時期を記入すること。ただし、2019年1月1日以降に撮影したものとする。
- ・映像資料は、「書類・映像による選考」のために使用するもので、その選考以外には、使用しないことを保証する。
- ・演奏に対し、著作権、肖像権等の問題が生ずる場合は、応募者が事前に了解を得ておくこと。
- ・提出された映像資料は返却されない。



✧ 書類・映像による選考 申し込み受付期間 ✧

2024年2月5日(月)午前0時～5月9日(木)午後11時59分(日本時間)

※持参の場合は、午前10時から午後5時まで。ただし土、日、祝・休日を除く。

※郵送の場合は、5月9日(木)までに、事務局に到着したものを有効とする。

✧ 申し込み・問い合わせ先 ✧

〒160-8588 東京都新宿区信濃町8

一般財団法人民主音楽協会(民音文化センター)内 東京国際指揮者コンクール事務局

TEL:03-5362-3460 FAX:03-5362-3411

コンクールに関するお問い合わせ:<https://www.conductingtokyo.org/>

コンクール事務局:松島 大城、高村 誠一、栗田 光徳、奈良 雄一

✦ 書類・映像選考委員会 ✦

書類・映像選考委員会を設置する。委員会は、提出された書類、ならびに映像資料をもとに選考を行い、第1次予選参加の可否を決定する。

委員長：尾高 忠明

委員：広上 淳一、桑原 浩、宮澤 敏夫、下野 竜也、高関 健（アルファベット順・敬称略）

その結果は、2024年8月14日（水）までに、郵送と電子メールで、応募者に通知する。

選考内容については公表しない。

✦ 審査について ✦

審査は、オーケストラの指揮を第1次予選、第2次予選、本選の3段階で実施する。

審査の順番は、予選・本選とも参加者自身の抽選により決定する。

なお、審査は全日程、一般公開（有料）される。

✦ 参加料 ✦

「書類・映像による選考」を通過した第1次予選の参加者は、参加料5万円（ただし日本円で現金のみ）を第1次予選の参加者受付時（6ページの「参加者受付」を参照）に納入する。

✦ 開催日程 ✦

【第1次予選】 2024年10月7日（月）、8日（火） 東京オペラシティ コンサートホール（東京・新宿区西新宿）
〈管弦楽〉 東京フィルハーモニー交響楽団

【第2次予選】 2024年10月9日（水）、10日（木） 東京オペラシティ コンサートホール（東京・新宿区西新宿）
〈管弦楽〉 東京フィルハーモニー交響楽団

【本 選】 2024年10月13日（日） 東京オペラシティ コンサートホール（東京・新宿区西新宿）
〈管弦楽〉 新日本フィルハーモニー交響楽団

✦ 演奏曲目 ✦

【第1次予選】

課題曲

- ・W. A. モーツァルト：歌劇「魔笛」K.620 第1幕 第8番 フィナーレ 39小節から159小節まで タミーノと僧侶のレチタティーヴォ「童子たちの尊い教え」
- ・W. A. モーツァルト：交響曲 第38番 二長調 K.504 ペーレンライター版

【第2次予選】

課題曲

- ・R. シューマン：交響曲 第4番 二短調 作品120（1851年版）ブライトコプフ版
- ・B. バルトーク：舞踏組曲 Sz.77 ユニバーサル版
- ・J. シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 二短調 作品47

【本 選】

課題曲

・藤倉大:Glorious Clouds

自由曲

・参加者が申し込みの際に提出する自由曲3曲の中から、実行委員会が演奏曲目を決定し、第2次予選の通過者決定後、参加者に通知される。

※編成上の注意

- ① 独奏、独唱、合唱を含まない標準的な3管編成、打楽器(ティンパニを含む)6人以内の交響曲、管弦楽曲。
- ② サクソフオンは1本まで可。
- ③ ピアノ、チェレスタ、オルガンは各1台まで、演奏者は2名まで可。ただしチェンバロは不可。
- ④ ハープは2台まで可。

参加者受付

予選・本選それぞれの参加が決定した者は、下記の日程で行う参加者受付に集合し、所定の手続きを行うこと。

【第1次予選(「書類・映像による選考」の通過者)】

2024年10月6日(日)午後3時～ 民音文化センター1F

- ・第1次予選の課題曲の演奏箇所の発表
- ・第1次予選の審査日と審査順序の抽選・発表
- ・参加料の納入
- ・海外居住の参加者に対する、国際航空運賃の補助金の支払い

【第2次予選(第1次予選の通過者)】

2024年10月8日(火)第1次予選終了後 東京オペラシティ コンサートホール

- ・第2次予選の課題曲の演奏箇所の発表
- ・第2次予選の審査日と審査順序の抽選・発表

【本選(第2次予選の通過者)】

2024年10月10日(木)第2次予選終了後 東京オペラシティ コンサートホール

- ・自由曲の演奏箇所の発表
- ・リハーサル的注意事项、ならびに打ち合わせと審査順序の抽選・発表

審査結果の発表

【第1次予選】10月8日(火)の審査終了後、審査会場にて掲示発表する。

【第2次予選】10月10日(木)の審査終了後、審査会場にて掲示発表する。

【本 選】10月13日(日)の審査終了後、表彰式にて発表する。

表彰式

本選終了後、審査会場において実施する。本選出場者は、表彰式に出席することを義務とする。

◆ 表彰 ◆

入賞者は、第1位～第3位までとし、それ以外の本選出場者は入選とする。

同位入賞者が2名以上の場合でも、下記の賞、ならびに表彰金は、等分することなく贈られるものとする。

該当者がいない場合は空位とする。

■ 賞、ならびに表彰金 ■

第1位 表彰状、メダル、表彰金200万円

第2位 表彰状、メダル、表彰金100万円

第3位 表彰状、メダル、表彰金50万円

■ 特別賞・齋藤秀雄賞 ■

本選出場者の中から、審査委員会で検討し該当者を決定する。該当者がいない場合もある。

齋藤秀雄賞は、小澤征爾をはじめ数多くの世界的な音楽家を育成した齋藤秀雄（1902～1974、指揮者・チェロ奏者・教育家）が本コンクールの初代審査委員長として、創設時から多大な功績を残されたことを顕彰し、後継の人材を奨励するため制定した特別賞である。なお、この賞の賞金は齋藤秀雄氏のご遺族からの寄付金によるものである。

表彰金 50万円

■ 奨励賞 ■

入選した者に与えられる（ただし、入賞者は除く）。

入選したものが複数の場合は、等分することなく贈られるものとする。

表彰金 15万円

■ 聴衆賞 ■

入選した者の中から、聴衆による投票にて選出される。

表彰金 10万円

◆ 記者会見 ◆

入賞者は、下記の日程で開催する記者会見に出席することを義務とする。

2024年10月14日（月）午後2時～3時（予定）

◆ 入賞デビューコンサート ◆

入賞者を広く一般に紹介するため、以下の日程で「入賞デビューコンサート」を開催する。なお、入賞者は、入賞デビューコンサートに出演することを義務とし、出演者には、所定の旅費、宿泊費、出演料が支払われる。

【入賞デビューコンサート】

2025年7月10日（木）会場：未定

〈管弦楽〉 NHK交響楽団

✦ 旅費・滞在費 ✦

第1次予選の参加者で、国外居住の参加者(日本人も含む)には、下記の補助が与えられる。

・国際航空運賃の補助金を、下記に従い、第1次予選の参加者受付時に支払う。

アジア地域からの参加者一人に対し、5万円

アジア以外の地域からの参加者一人に対し、10万円

・全出場者に対し、審査期間中(10月6日午後3時～10月15日午前11時)の宿泊所を提供する。ただし、事務局が指定した宿泊所以外の宿泊費は支払わない。

✦ ビザの取得 ✦

入国ビザが必要な場合は、参加者自身が取得すること。

ビザ取得のため、招聘状を必要とする場合は、コンクール事務局に申し出ること。

✦ 実施に伴う諸権利 ✦

・参加者が撮影、インタビュー等に応じる場合は、事前にコンクール事務局の承諾を必要とする。また、事務局が指定する撮影、インタビュー等には応じなければならない。

・一般財団法人民主音楽協会は、参加者に対し下記の権利を保有する。それに対し、参加者は異議を申し立てること、あるいは金銭的請求をすることはできない(記者会見、入賞デビューコンサートを含む)。

① 録音、録画、撮影をすること。

② 収録したものを放送、放映、またインターネット上で公開すること。

③ 複製し販売すること。

✦ 保険・損害補償 ✦

・一般財団法人民主音楽協会、ならびに実行委員会は、コンクール期間中に万一、下記の事項が生じた場合、その責任を負わないものとする。

① 参加者自身、ならびに参加者の荷物等に損害が生じた場合。

② 参加者が肉体的、物質的、精神的損害を被る、または与えた場合。

・参加者は自己の責任において保険をかけることが望ましい。

✦ 運営・選考・審査に対する疑義 ✦

・コンクールの運営、書類・映像による選考に対する実行委員会の決定、審査に対する審査委員会の決定は最終的なものである。

・それに対し参加者は、疑義の申し立てをすることはできない。

✦ 条項の追加・削除・変更 ✦

・実行委員会は、コンクールの円滑な運営を図るため、参加規程の発表後も条項の追加、削除、変更する権利を保有する。

・参加規程に明記されていない事項は、実行委員会の指示、ならびに決定に従うものとする。

✦ 訴訟の判決権 ✦

コンクールに起因する訴訟に関しては、日本国の法廷に判決権がある。

✦ 参加規程の正文 ✦

参加規程は日本語、英語、フランス語版を作成し、日本語版をもって正文とする。

(2023年9月現在)

MAP



東京国際指揮者コンクール事務局

〒160-8588 東京都新宿区信濃町8

一般財団法人民主音楽協会(民音文化センター)内

TEL:03-5362-3460

FAX:03-5362-3411

<https://www.conductingtokyo.org/>

The Competition Office of the Tokyo International Conducting Competition

c/o Min-On Concert Association (Min-On
Culture Center)

8 Shinano-machi, Shinjuku-ku,

Tokyo 160-8588, Japan

Tel: +81-3-5362-3460

Fax: +81-3-5362-3411

<https://www.conductingtokyo.org/>

*min
On*